



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,156	8.6	328	56.6	343	59.6	232	63.9
2022年3月期第1四半期	2,906	12.1	209	△14.9	215	△14.3	141	△16.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 199百万円 (24.0%) 2022年3月期第1四半期 161百万円 (△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	74.75	—
2022年3月期第1四半期	45.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,946	14,616	72.2
2022年3月期	20,252	14,509	70.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,399百万円 2022年3月期 14,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	5.9	710	15.9	715	14.3	475	12.7	153.72
通期	13,200	3.4	1,670	4.7	1,680	3.6	1,140	3.0	368.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	3,420,000株	2022年3月期	3,420,000株
2023年3月期1Q	309,024株	2022年3月期	309,024株
2023年3月期1Q	3,110,976株	2022年3月期1Q	3,089,666株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、COVID-19の世界的な拡大により、経済活動に引き続き多大な影響が発生しており、輸出や消費の減少、企業収益や雇用環境の悪化など厳しい状況が続いております。各種施策やコロナワクチンの接種率の増加等の一方で、変異株の影響等もあり感染者数は増減を繰り返しています。またウクライナ情勢等により経済活動の回復に向けては依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは安定供給と安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,156百万円（前期比8.6%増）、営業利益は328百万円（前期比56.6%増）、経常利益は343百万円（前期比59.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円（前期比63.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、COVID-19の世界規模での発生に伴い影響を受けてきておりましたが、外来・入院・手術・検査等の回復、新型コロナ患者向けの需要増及び酸素ステーションへの供給も相俟って、医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。「新型コロナウイルス感染症の診療の手引き・第5.1版」にハイフローセラピー（高流量酸素療法）が追加されたことにより導入した医療機関については、特に医療用酸素使用量の変化を注視し安定供給に努めました。また、感染症対策製品の拡販も継続しました。

これらの結果、売上高は857百万円（前期比2.3%増）、セグメント利益は71百万円（前期比25.3%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズに対応するとともに、コロナ禍のなか感染防止に努め、きめの細かい営業活動を継続したことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」ともに好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,434百万円（前期比8.1%増）、セグメント利益は166百万円（前期比268.3%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事及び保守点検業務を行っております。設備工事は医療機関の設備投資が少なく、合わせて昨今の原材料不足に伴う工期延長により当期の完工物件が減少いたしました。保守点検業務はCOVID-19による点検の中止も減少し、若干の新規獲得もあることから安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は218百万円（前期比58.6%増）、セグメント利益は43百万円（前期比117.1%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、コロナ禍ではありましたが地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上が堅調に推移いたしました。併せて、今後の事業拡大に向けレンタル資材の整備充実を行いました。

また訪問看護事業所におきましても、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は222百万円（前期比3.4%増）、セグメント損失は5百万円（前期セグメント利益9百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきましては、24時間看護師在駐、地元医療機関との連携のさらなる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、COVID-19の感染予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、コロナ感染防止に努めつつ地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は89百万円（前期比3.1%減）、セグメント利益は12百万円（前期比180.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は19,946百万円(前連結会計年度末比306百万円減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が323百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,329百万円(前連結会計年度末比412百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が370百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は14,616百万円(前連結会計年度末比106百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が139百万円増加し、その他有価証券評価差額金が27百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,760,258	8,796,675
受取手形、売掛金及び契約資産	2,538,261	2,214,531
棚卸資産	237,632	225,334
その他	79,568	91,108
貸倒引当金	△869	△665
流動資産合計	11,614,850	11,326,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,090,138	1,406,937
土地	3,462,663	3,462,663
その他(純額)	1,777,875	1,472,408
有形固定資産合計	6,330,677	6,342,010
無形固定資産		
投資その他の資産	92,909	109,797
投資有価証券	982,981	946,898
その他	1,231,468	1,221,025
貸倒引当金	△605	△605
投資その他の資産合計	2,213,845	2,167,318
固定資産合計	8,637,432	8,619,126
資産合計	20,252,282	19,946,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,488,642	2,118,009
未払法人税等	295,350	119,848
賞与引当金	176,600	243,100
その他	1,267,221	1,410,448
流動負債合計	4,227,813	3,891,406
固定負債		
役員退職慰労引当金	802,500	846,000
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	707,005	587,411
固定負債合計	1,514,650	1,438,556
負債合計	5,742,464	5,329,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	553,518	553,518
利益剰余金	13,831,980	13,971,201
自己株式	△873,024	△873,024
株主資本合計	13,948,655	14,087,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272,069	244,592
退職給付に係る調整累計額	72,768	67,329
その他の包括利益累計額合計	344,837	311,922
非支配株主持分	216,326	216,351
純資産合計	14,509,818	14,616,149
負債純資産合計	20,252,282	19,946,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,906,095	3,156,473
売上原価	1,512,139	1,578,292
売上総利益	1,393,955	1,578,180
販売費及び一般管理費	1,184,057	1,249,520
営業利益	209,898	328,660
営業外収益		
受取利息	258	482
受取配当金	3,947	9,099
受取家賃	3,057	2,712
仕入割引	972	1,444
保険解約返戻金	—	5,471
その他	1,006	2,145
営業外収益合計	9,242	21,355
営業外費用		
支払利息	2,078	1,742
その他	1,636	4,368
営業外費用合計	3,714	6,111
経常利益	215,426	343,904
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	215,426	343,904
法人税等	70,852	110,079
四半期純利益	144,573	233,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,655	1,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,917	232,550

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	144,573	233,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,622	△28,509
退職給付に係る調整額	△5,165	△5,654
その他の包括利益合計	16,457	△34,164
四半期包括利益	161,030	199,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,544	199,635
非支配株主に係る四半期包括利益	2,486	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	838,267	1,327,725	137,938	214,826	92,792	2,611,550	294,544	2,906,095
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	20,200	—	—	20,200	—	20,200
計	838,267	1,327,725	158,138	214,826	92,792	2,631,750	294,544	2,926,295
セグメント利益 又は損失(△)	95,953	45,201	19,887	9,024	4,484	174,551	35,346	209,898

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	174,551
「その他」の区分の利益	35,346
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,898

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	857,502	1,434,680	218,760	222,043	89,879	2,822,867	333,606	3,156,473
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,855	—	—	19,855	—	19,855
計	857,502	1,434,680	238,616	222,043	89,879	2,842,722	333,606	3,176,328
セグメント利益	71,698	166,492	43,181	△5,060	12,562	288,874	39,785	328,660

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	288,874
「その他」の区分の利益	39,785
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	328,660

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。